

(様式4)

平成27年度 日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立宮田小学校 教諭 神林 貴博

- 1 派遣期日 平成27年 10月 27日(火)
- 2 研修先 学校名(会場名) 千葉県松戸市立八ヶ崎小学校
所在地 千葉県松戸市八ヶ崎6-53-1
<http://www.matsudo.ed.jp/~hati-e/>

研究主題「生き生きとした体育学習の展開はどのようにしたらよいか」

- (1) 授業展開
- 1年 ドッジボール
 - 2年 マットをつかった運動遊び
 - 3年 ウイングマンサッカー
 - 4年 鉄棒運動
 - 5年 マット運動
 - 6年 ハードル走

- (2) 講演 「これからの学校体育を考える」
日本体育大学体育学部教授 白旗 和也



大きな遊具がある校庭

3 研修内容

- (1) 八ヶ崎小学校では、昭和49年度以来体育科の研究実践を積み重ね、本年度で41次となる教育実践を行っている。永年にわたり研究をすすめてきた方向性は揺るぎないものである。体育の学習は素晴らしいものであり、ドリル学習財や課題解決学習財なども取り入れて実践している。そこで、本校の教育活動の活性化のため、よりよい教育実践の提案ができるように研修を行った。

(2) 視察校における実践事例

八ヶ崎小学校では、人間性豊かな子どもの育成を目指す共に、激動する現代社会に対応できる、21世紀をたくましく生き抜くことができる子どもを育てることを学校教育の基盤とし、その児童像として次の3点を設定している。

- ①自ら学ぶ子 (知)
- ②たくましい子 (体)
- ③思いやりのある子 (徳)

さらには、目指す児童の姿として低・中・高学年それぞれに目標を設定している。これにより、研究主題である「生き生きとした体育学習」である運動に親しむ態度や一人一人に伸びが見られる学習、教師と児童、児童相互の肯定的な人間関係やふれあいが見られる学習が取り組まれている。

<低学年>

- ①・夢中になって動く
- ②・めあてに向かってがんばる
- ③・助け合いながら運動する

<中学年>

- ・協力して楽しく運動する
- ・進んで課題に取り組む
- ・認め合いながら運動する

<高学年>

- ・個人やチームのよさを伸ばす
- ・自ら課題を見つけて取り組む
- ・励まし合い高め合い運動する

(3) 公開授業参観

○単元名 「マット運動」

○本時の授業 うでピン！ひざピン！ゆかをグッ！

○授業のねらい

- ・腰の位置を高く保ちながら，正しい手や足の着き方で側方倒立回転ができる。
- ・技のポイントを理解して，自分の演技を振り返ったり，仲間の演技にアドバイスしたりしている。

○メインの課題

- ・手足の着き方，腕を大きく開くこと，手をハの字にして着手すること。

○展開

1 学習の場の準備 使う部位をほぐす

2 ドリル学習 補助倒立

ゆりかご → 開脚後転

ゆりかご → 開脚立ち

ゆりかご → 開脚後転 → 開脚前転

腕立て横飛び越し

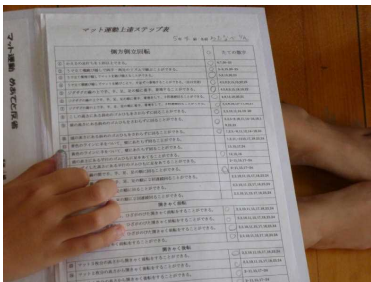
3 健康観察 顔色や服装の確認する。

4 課題確認 「3つ以上の技を入れた組み合わせ技を完成させよう」

5 課題解決学習 自分の課題に合った場で側方倒立回転の練習をする。

6 発表会 グループ毎に発表をする。

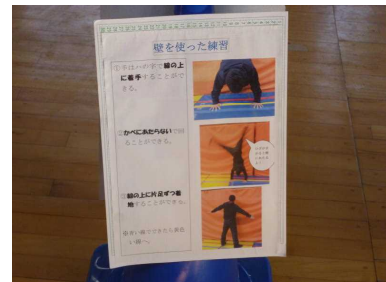
7 反省・まとめ 自分のめあての技ができたか振り返りまとめる。



細やかなドリル学習財



グループでの課題解決



写真付きのポイント

4 感想

今回の研修では，ドリル学習財や課題解決学習財をはじめとした様々な実践を研修することができた。学力向上だけでなく，大きな声であいさつをしてくる児童がたくさんいる学校の雰囲気からも実践内容が有効であると感じた。本校にあった実践例を取り入れて更なる教育活動の充実を図りたい。

5 参考



手作りの教具（鉄棒の指導に用いる。腹部の負担軽減）



講演した白旗教授が監修した本